

(様式2)

放射線等に関する教育実践事例

学校番号・学校名	〈小・64〉	いわき市立 川部 小学校
〈実施日〉	平成 28 年 7 月 19 日 (火)	
〈実践教科等〉	※当てはまる番号に○を付けてください。4は()に教科等を入れてください。 1 理科 ② 学級活動 3 総合的な学習の時間 4 その他 ()	
〈実践内容〉	第1学年 (男子7名 女子4名 計11名)	
1 題材名	放射線と健康	
2 題材について	児童の健康や生活に対する放射線の影響を現在及び将来にわたって最小限に食い止めていくためにも、放射線に関する基礎知識や人体への影響、健康な生活を送るために必要なことなどを確実に身に付けさせたい。	
3 本時のねらい	放射線に関する基礎知識を身に付け、健康な生活を送ろうと心がけることができる。	
4 準備物	写真資料、懐中電灯	
5 学習の流れ	(1) 本時のねらいをつかむ。 ① モニタリングポストの写真を見て、知っていることを発表する。 ② 本時のめあてをつかむ。 「けんこうなせいかつをおくろう」	
	(2) 放射線に関する基本的な知識を理解する。 ① 用語を知る。 ・ 放射線 ・ 放射能 ・ 放射性物質 懐中電灯を使い、1年生にも違いが分かるように説明する。 ② 身の回りにおける放射線と人体への影響について知る。 ・ 自然界の中の放射線 ・ レントゲン ・ 食べ物 ・ 放射性物質の多い場所	
	(3) 放射性物質を体に取り込まないようにするために気をつけることについて話し合う。 ・ 外で遊んだら手洗いやうがいをする。 ・ お風呂に入って体をきれいにする。 ・ 土や砂を口に入れない。 ・ 放射線量が高いところには近づかない。	
	(4) 健康な生活を送るために気をつけることを確かめ本時のまとめをする。 ○ 放射性物質を体に入れないように、手洗いやうがいをする。 ○ 放射線量の高い所には近づかない。 ※ 放射線について知り、健康な生活を送ろうとする意欲をもつことができたか。	
〈成果〉	○ 放射線に関する知識について、興味をもって学習することができた。 ○ 健康な生活を送ろうという意欲付けになった。	
〈課題〉	● 学年の実態に応じた指導が難しかった。 ● 学級活動や道徳、各教科の授業でも放射線教育を取り入れていきたい。	
資料作成担当者職(教諭)氏名	(小倉 貴子)	学校電話番号(64-7624)

【 資料作成上の注意 】

1. 平成27年8月～平成28年7月の実践についてまとめてください。
2. 提出期限の平成28年8月1日（月）までに電子メールで送信してください。
（送信先：kakuta-k@city.iwaki.fukushima.jp）